

Cardiovascular Imaging In-a-Month

Valsalva 洞動脈瘤破裂術後例で心内腫瘍を疑われた 57 歳男性

A 57-Year-Old Man With Intra-Cardiac Tumor Occurring After Operation for Rupture of Valsalva Sinus

三橋 武司
山本 啓二
深 沢 浩
村上 善昭
島田 和幸

Takeshi MITSUHASHI, MD
Keiji YAMAMOTO, MD, FJCC
Hiroshi FUKAZAWA, MD
Yoshiaki MURAKAMI, MD
Kazuyuki SHIMADA, MD, FJCC

症 例 57 歳, 男性

主 訴: 右室内腫瘍の精査 .

現病歴: 1972 年, Valsalva 洞動脈瘤破裂(type A)と診断され, A 大学病院で手術を施行された . その後, とくに自覚症状はなかったが, 検診で心電図異常を指摘され, B 病院を受診し, 心エコー図検査により右室内に腫瘍影を認めたため, 精査目的で当院を紹介受診となった . 来院時の理学的所見では血圧 136/68mmHg, 脈拍 65/min, 整 . 胸骨正中に手術痕あり . 胸骨左縁において Levine 度の収縮中期雑音を聴取した . 心電図は I , II で QS を呈し, 左室高電位と T 波の平低化を認めた . 心胸郭比は 46% で, 肺野にうっ血所見などは認められなかった . B 病院で施行された心エコー図検査の写真を Fig. 1 に示す .



Fig. 1

自治医科大学 循環器内科: 〒 329 - 0498 栃木県河内郡南河内町薬師寺 3311 - 1

Division of Cardiovascular Medicine, Department of Medicine, Jichi Medical School, Tochigi

Address for correspondence: MITSUHASHI T, MD, Division of Cardiovascular Medicine, Department of Medicine, Jichi Medical School, Yakushiji 3311 - 1, Minamikawachi-machi, Kawachi-gun, Tochigi 329 - 0498

Manuscript received February 19, 2004; revised March 16, 2004; accepted March 23, 2004

診断のポイント

当院で経胸壁および経食道心エコー図検査を施行したところ、腫瘍は右 Valsalva 洞から連続しており、最大径約 42 × 40 mm で、左室の収縮に伴い可動性を有していた。腫瘍内部はほぼ均一なエコー輝度を呈し、三尖弁を通過する拡張早期血流は腫瘍の圧排により 87 cm/sec と加速していた。腫瘍から心内腔にシャントする血流は認められず、大動脈弁逆流も認められなかった。腫瘍と右室壁の連続性がはっきりしないため、マルチスライスコンピューター断層撮影を施行した (Fig. 2)。右室内に突出した腫瘍は辺縁に石灰化が認められ、右室壁との連続性はなく、右 Valsalva 洞のみに接していた。以上の所見より右 Valsalva 洞動脈瘤が右室に突出し、内部に血栓が生じたものと診断した。

本例は塞栓症を危惧し腫瘍摘除も検討したが、大動脈弁閉鎖不全の発生や房室ブロックなどの合併症の可能性を考え、内科的に抗凝固薬を開始し経過観察することとした。今後腫瘍の拡大傾向や塞栓症の発生などがあれば、ただちに手術を行う予定である。

1972 年の手術記録では、Valsalva 洞から右房への破

裂に対して右房切開をし、動脈瘤頸部の結紮を行ったと記載されていた。その後約 30 年の経過で残った Valsalva 洞動脈瘤が右室のほうに向かって拡大していった可能性が考えられる。Mayo Clinic における Valsalva 洞動脈瘤破裂手術 31 例の検討では、その長期予後は極めて良好と報告されている¹⁾。しかし、再手術が 5 例 (16.1%) あり、そのうち再発性瘻に対する再手術が 2 例、大動脈弁置換術が 3 例であった。脆弱な Valsalva 洞壁が経年的に拡大・破裂する可能性や大動脈弁逆流の発生などに注意する必要があると考え、それらの定期的な観察に心エコー図検査は有用と思われた。

Diagnosis: Thrombosed Valsalva sinus aneurysm

Key Words: Aneurysm (Valsalva sinus); Aortic valve; Heart surgery

文献

- 1) van Son JA, Danielson GK, Schaff HV, Orszulak TA, Edwards WD, Seward JB: Long-term outcome of surgical repair of ruptured sinus of Valsalva aneurysm. *Circulation* 1994; **90**(Suppl): 20 - 29



Fig. 2

Fig. 1 Two-dimensional echocardiogram showing a large round mass in the right ventricle just below the tricuspid valve

Fig. 2 Multi-slice computed tomography scan demon-

strating a low density mass in the right ventricle

The mass connecting with the Valsalva sinus was filled with thrombus.